

コロナ禍により世界中が大きなダメージを受けています。もちろん、日本も例外ではありません。経済的な損失は計り知れないでしょう。私自身も塾を20年以上経営してきて、初めての大幅な赤字を経験し、人生の「まさか…」を実感しています。

君たちも3ヶ月に及ぶ休校の中で様々な不安を感じていると思います。ただ、コロナによる被害は若い人にはほぼ出ていません。学業の遅れも必ず取り戻すことができます。

毎年、各学校の吹奏楽部の中3生は11月くらいまで部活があります。夏期講習もほとんど出席できません。受験勉強の時間は他の生徒と比べたら、ずいぶん少ないはずですが。それでも、第一志望校に合格する生徒もたくさんいます。去年は、豊島岡女子高、お茶の水女子大附属高に合格した生徒がいました。時間がないことを自覚し、覚悟を持って勉強に臨んだからこそ、目標を達成できたのだと思います。若い君たちには信じられないほどの力が潜んでいます。それを引き出すのは君たち自身の「覚悟」です。

## —新年度にあたって— 萌学舎代表 下山征広

「災い転じて福となす」ということわざがあります。人生では、思いもかけない逆境が訪れることがあります。その時、心を引き締めてそれまで以上の努力をすることで逆に大きな成功を手にするという意味です。

私自身、大学受験のとき父が失業し、母から受験を断念するように言われました。何とか大学に行く方法



はないか調べ、新聞奨学生しやうがくせいの制度を知りました。毎朝3時に起きて、3時間新聞を配達し、月末には数百軒の集金をしました。1年後早稲田大学に受かりました。自分の手から滑り落ちそうだった人生を必死につかんだのです。

コロナ禍という逆境につぶされる人もいれば、それを跳ね返し成功をつかむ人もいます。それは君たち自身にも当てはまります。

### ◆ ぼくらの受験時代——卒業生より萌学舎のみなさんへ——

#### ■川越高校2019年卒 山八瑞樹くん(東京大学理科I類1年、志木二中2016年卒)

こんにちは。萌学舎卒業生の山八です。今回は萌学舎通信に文章を書く機会を頂いたものでこれを機に僕の高校受験を振り返ってみようと思います。

まず高校受験と言われて最初に思い出すのはやはり萌学舎で勉強した日々です。萌学舎には中学3年間を通してお世話になりましたが、部活を引退するまでの僕はお世辞に



も真面目に勉強しているとは言えず、テレビを見ながら予習をしたり、しょっちゅう追試になったりと散々でした。しかしそんな僕もあることがきっかけで人が変わったように勉強に打ち込むようになりました。その時のことを今までは特に思い出さなかったのですが、この文章を書くにあたって記憶を<sup>たど</sup>辿ってみると、そのきっかけはどうも萌学舎の英語の授

業だったように思います。

部活を引退して間もない頃、僕はいつものように萌学舎で授業を受けていました。しかし、その日の授業は何だかいつもと雰囲気の違いがありました。僕と僕のクラスメイトが、つい最近習ったばかりの問題を何度も何度も間違え、その度に英語担当の下山先生はため息をつきながら前回の授業と同じ解説をしていました。そんな中その授業中にふと自分がひどく情けなくなったのを覚えています。先生はもしかしたら僕たちに見切りをつけてしまったかもしれないと感じました。当時の無知な僕は生意気にもそんなに一生懸命勉強せずとも入試は突破できるんじゃないかと勘違いしていましたが、ろくに勉強もせず同じ問題につまづいてばかりで突破できるはずがないとその日に悟りました。さらに先生にそのような授業をさせてしまっていることが悔しくてたまりませんでした。その日は授業が終わるとすぐに家に帰って晩ご飯もロクに食わず、深夜 2 時過ぎまで勉強していたのを思い出します。それからというもの僕は心を入れかえて勉強に励むようになりました。僕の場合あの日感じた無力感が勉強の原動力になったわけです。そして気づけば自然と勉強する習慣が身につき、おかげで第一志望の高校に入学することができました。

いま、この文章を読んでいるみなさんはほとんどが初めての受験でなかなか勉強をする習慣が身につけていないと思います。あるいは勉強はしていても周りが勉強しているから何となく自分も勉強をしているだけかもしれません。しかし、心配はいりません。そう遠くないうちにみなさんにも僕が経験したように自ら主体的に、本気で勉強することを決意する瞬間が突然来るはずです。ですから、みなさんもその瞬間を逃さないように常にアンテナを張っててください。

最後に受験勉強の 1 年間は長く辛いものですが、逆に自分が成長できるチャンスだと思って本気で取り組んでみてください。応援しています。

### ■川越高校 2019 年卒 安藤輝紀くん(東京農工大学 1 年, 朝霞三中 2016 年卒)

「お前も何か書いてみないか」 大学受験の報告に行った際にそう言われ、私はこの文を書くことに決めました。

そもそも、私の進学先は国立ではありますが、超難関というわけではありません。そんな私が勉強法について語るのはどこかおかしなことでしょう。それよりも私に適しているのは、勉強の心構えについて語ることだと考えました。

私は中学時代、勉強をほとんどせずに高校へ進学を決めました。そこで私は思い上がり、「私は勉強ができる」などと考えるようになり、さらに勉強をしなくなりました。その結果、あっという間に成績は低下、学年最下位レベルから脱出することなく卒業し、流れるように浪人へと進みました。正直、当時のことを思い出してみると、いったい、なぜ私は卒業できたのか不思議に思うほどの学力だったのです。

しかし、そこから1年間で偏差値が15上がり、1年前は合格など夢のまた夢であった大学に合格しました。この急激な変化の基盤となっている私が思うものこそ、さきほど述べた勉強の心構えなのです。

私は勉強が嫌いで、先生たちの言う「勉強は将来必要になる」という言葉も、口八丁だと思って聞き流していました。今だから言えます。あれは本当のことです。この言葉を信じられなかった人が一人また一人と脱落していき、成長した時に自分の首をしめるのです。

今は勉強が辛いかもしれません。苦しいかもしれません。それでもいつか、その経験が自分の糧になる日はあります。幸いにしてみなさんはまだ中学生、勉強する時間はたっぷりあるのです。目先の欲に釣られず、懸命に努力してください。それがきっと、将来あなたを助けます。そうすれば必ず合格する……とは言えません。しかし、それが合格するために大いに役立つことは確かなのです。

## ◆ 卒業生の「わが校」紹介 県立大宮光陵高校美術科2年 横内祐真くん (志木中2019年卒)

大宮光陵高校は大宮駅からバスで20分、自転車で30分ほどかかります。バスで通う場合、7時半ぐらいにはバス停に来たほうがいいです。登校時間がギリギリにならなくてすみます。

勉学に関しては、美術科には2年生から数学がありません。そのかわり、「専攻」という美術の実技分野が存在し、なくなった分の教科はそれで埋められることとなります。専攻とは、油絵・日本画・彫刻・デザインなどの専門分野を自分で選び学ぶことができる教科です。この専攻は進路にも関わる重要なもので、美術の人たちも慎重に選んでいます。続いて、美術科1年生は、夏になると長野の戸隠で合宿を行います。ここの風景を水彩で描き、1日ごとに講評会を行います。2泊3日で制作しており、山の気候なので本当に天気がよく変わります。寒かったり暑かったりします。勉強合宿はおこなっていませんが、夏期進学講習は実施されます。補習は基本的に1年中おこなっています。本校では進路指導にも熱心に取り組んでおり、三者面談や先生方の進路説明以外にも、たまに卒業生の方が自分の仕事を紹介しに来てくれたりします。



行事についてですが、この学校では文化祭が有名で、生徒たちがけっこうノリノリな

ので、来てくれた際には一緒に楽しめると思います！ また、先生方の平均年齢は少し高めですが、だいたいの先生は気さくで話しやすいです。芸術の道に進むつもりの人や、穏やかな学校に行きたい人に、この学校はオススメです。

ただし、もし芸術の方で受けてみたい人がいるのなら、絶対に生半可な気持ちで入学すべきではありません。3年間ずっと芸術をやり続けるのですから、途中で飽きたらとても辛いことになります。

## ◆ 2021 年度入試はどうなるのでしょうか

新学期の始まりが大幅に遅れている状況のなか、とくに来春入試を迎える中 3 生にとっては、例年とはだいぶ異なる受験までの道のりとなることが予想されます。

北辰テストの回数が減っています。4 月実施予定のテストが中止になり、6 月も会場での実施が中止され、自宅受験の形式になるようです。このかたちでは公平性が担保されないので入試相談で使える偏差値にはならないでしょう。9 月以降の北辰テストも新型コロナの「第二波」があれば実施できなくなる可能性もあります。英検などの各種検定試験も同じような状況です。

学校は夏休みが短縮されて 7 月末までが 1 学期のようです。時間的に考えて定期テストは 1 回だけになる可能性があります。2 学期は中間と期末の 2 回の定期テストを実施する日程はとれるとは思いますが、感染状況によっては予定どおりにはいなくなるかもしれません。

このような状況なので、例年のように今回のテストで失敗したから次回挽回するなどといったことができなくなるでしょう。例年 2 学期に行われている私立高校の入試相談会で示される条件も変わってくるでしょう。最悪の状況であれば入試相談すらできなくなるかもしれません。そうすると、これまで入試相談である程度合格が約束されていた併願私立入試が、入試の得点のみで合否が決まるかたちになるかもしれません。

いずれにせよ、例年に比べてチャンスが少なくなるのは確実です。しかし、これは受験生全員にあてはまることです。大切なことは、こうした状況を自覚し、少ないチャンスを生かしていくことができるかどうかです。一つひとつのテストに、次はないかもしれないという思いで、後悔のないように全力を注ぎましょう。幸いなことに、例年の受験生に比べてみなさんには自由に使える時間がたっぷりあり、勉強するには恵まれています。自分自身を律することができるかどうかで、自分の将来が大きく変わってきます。

(加藤)

## ◆ 行事予定

□ 6/1～ 通常授業再開 (感染状況により再びオンライン授業になる可能性もあります。その場合はホームページでお知らせします)

□ 6/21 第 2 回北辰テスト 会場での実施は中止されました。自宅受験になります。

【編集 加藤】